

■ 施設愛称“ひろたハマラインパーク”について

浜の町・広田から望む太平洋の海岸線（浜のライン）と、気仙語の「はまらいん」（集まろう、仲間になろうという意）を合わせ、広田での活動を通して公園（パーク）のように広くみんなが親しみやすい施設になればとの願いが込められた愛称です。

▶ シンボルマーク



本施設で、元気いっぱい楽しく過ごしていただきたいという思いを込めてデザインされたもの。広田町の「H」を利用者の姿に見立て、運動広場と海を取り入れております。

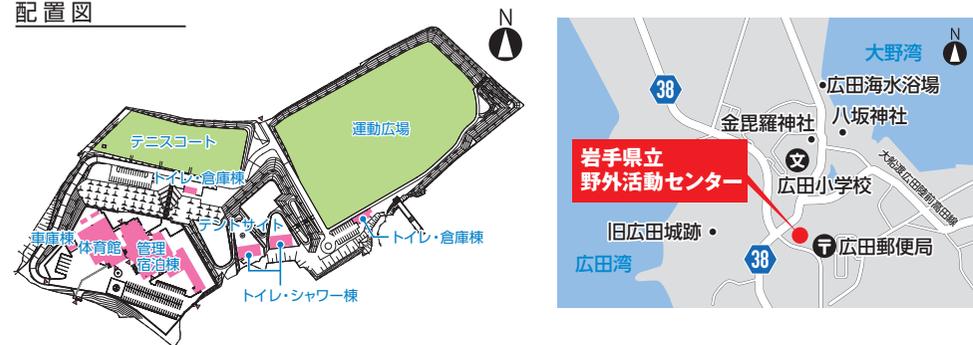
▶ イメージキャラクター



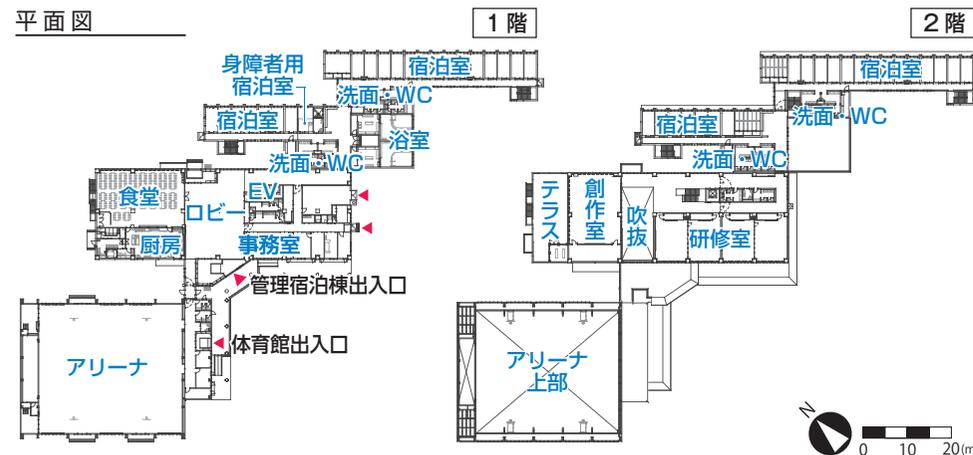
イメージキャラクター「はまびー」は「ひろた」の文字、カモメ、ワカメをモチーフにデザインされたもの。ひろたハマラインパークだけの唯一無二のデザインです。

※施設愛称・シンボルマーク・イメージキャラクターは公募により決定。

配置図



平面図



■ 施設の使用について

- ▶使用できる時間は、6:00~21:00までです。6:00~9:00と17:00~21:00の利用については、事前（1か月前まで）の予約が必要です。
- ▶ランニングや散歩など施設内へ入場する場合は、事務室で許可を受けてから入場してください。
- ▶体育施設等は日帰りでも利用することができます。

施設名	利用可能時間	使用料等	備考
運動広場	6:00~日没	使用料あり	6:00~9:00までの利用は事前（1か月前まで）の予約が必要です。
テニスコート	6:00~21:00	使用料及び電気料（夜間）あり	6:00~9:00まで及び17:00~21:00までの利用は事前（1か月前まで）の予約が必要です。
体育館	6:00~21:00	使用料及び電気料（夜間）あり	6:00~9:00まで及び17:00~21:00までの利用は事前（1か月前まで）の予約が必要です。
キャンプ場	6:00~21:00	使用料あり	1日あたりテント1張（持ち込み含む）分の場所使用料が発生します。
遊具広場	9:00~17:00	使用料等なし	事務室で許可を得てからご利用ください。

※毎週月曜日は休所日ですが、運動広場、テニスコート、及び体育館については、必要に応じて臨時に開場することがあります。月曜日の利用については、必ず事前（1か月前まで）にご相談ください。
※コロナ対策のため、現在テントでの宿泊は実施していません。

設計担当者紹介

設計担当



(株)久慈設計 執行役員 企画設計部
担当部長兼建築設計担当
一級建築士 **榎 智也**

設計担当



(株)久慈設計 建築設計部
部長代理
一級建築士 **大橋 恭平**

構造設計担当



(株)久慈設計 構造設計部
総括部長
構造設計
一級建築士 **岡田 太郎**

榎： 東日本大震災で被災した従前施設の復旧が完了し、無事全面オープンを迎えることができたこと、またこの業務にプロポーザル、基本・実施設計、工事監理と全ての工程で携われたこと、光栄に思っています。本施設はキャンプや屋内外のスポーツ、各種研修など様々なアクティビティを支える大変わくわくする内容になっています。

この施設が県民の皆様にも永く親しまれる施設となることを願うとともに、自分自身でも是非家族で利用したいと思っております。

大橋： 従前の県立高田松原野外活動センターは、私が高校生の頃部活動の合宿で利用もしていたため、思い出のある施設でした。東日本大震災津波により甚大な被害を受けた事については本当に残念ではありましたが、今回災害復旧事業に携われた事は大変嬉しく思います。

県民の皆様さまに親しまれる施設を目指して計画をいたしました。是非多くの方々にご利用いただけると幸いです。

岡田： メインとなる管理棟・宿泊棟・体育館棟はそれぞれ異なった構造形式であるため、構造的に切り離すことで地震時における挙動の違いに配慮しています。基礎については、設計時から支持層に傾斜のある地盤であることが分かっており、現場でスムーズな対応が可能である柱状改良を採用しました。施行時にも場所によってはかなりの傾斜がみられましたが、現場との打合せを密に行うことで落ち着いて対応することができました。たくさんの方が施設の利用を通して様々な体験をして頂ければ嬉しいです。

Always with a SMILE!

海が育む多用途な複合施設

特集

岩手県陸前高田市
岩手県立野外活動センター
ひろたハマラインパーク

2021
8月号
Vol.197

90 Years anniversary

KUJI ARCHITECTS STUDIO

久慈設計は2021年6月5日で創立90周年を迎えました



KUJI HIGASHINON ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計 東日本
(一級建築士事務所)

KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計
(一級建築士事務所)

บริษัท กุจิ เซคเค ไทย จำกัด
KUJI SEKKEI THAI CO.,LTD.
Bangkok

Always with a SMILE!

発行責任者 株式会社 久慈設計
住所 岩手県盛岡市紺屋町3-11
TEL / 019-624-2020

公式HP
トップページ



公式HP
リクルートページ



「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて福島県の魅力を発信していきます。



左: 体育館棟 右: 管理棟 右下: 施設正面ロータリー部分に従前施設の記憶の継承として松を植樹

岩手県陸前高田市 岩手県立野外活動センター ひろたハマラインパーク

施工地 / 陸前高田市広田町字天王前地内ほか
竣工年月 / 2021年3月
敷地面積 / 96,315.5㎡
延床面積 / 5,802.87㎡
【内訳】 管理宿泊棟3,896.39㎡、体育館1,206.80㎡
受水槽ポンプ室8.56㎡、車庫棟63.00㎡
トイレ・シャワー棟A/B 248.43㎡
トイレ・倉庫棟A/B 65.63㎡
構造 / 管理宿泊棟: RC造2階、体育館、
トイレ・シャワー棟、トイレ・倉庫棟: W造1階
駐車場 / 96台 (うち車椅子用3台、大型5台)

に形成することで、多重防災型のコンパクトな復興まちづくりを10年という長い歳月をかけて一歩一歩前に進んで参りました。

その復興まちづくりの一環として、被災した旧岩手県立高田松原野外活動センターは、気仙町から広田町内に移転復旧整備を進めて参りました。この度岩手県立野外活動センターは、愛称を“**ひろたハマラインパーク**”とし、海洋性野外活動の機能や集団宿泊研修機能、防災拠点機能等を併せ備えた施設として、県民・市民待望のオープンを迎えました。海が育む多用途な複合施設として、今後更なる活躍が期待されます。

令和3年7月11日に執り行われた開所式の様子



達増知事らによるテープカットの様子



陸前高田市立広田小学校児童による「広田御祝い」

2011年3月11日14時46分、未曾有の東日本大震災が発生。暮らしと営みが無慈悲に奪われたあの日から10年を迎えました。大津波の被害を受けた岩手県陸前高田市は、沿岸の美しい松原を流し、市街地の建物はほとんど押し流され壊滅状態となり、住み慣れた町は1日を境にまるで違う景色となってしまいました。市は復興復旧を果たすべく、世界の人に誇れる美しいまち『海と緑と太陽の共生・海浜新都市』の創造をテーマに、住宅街を山側の高台にシフトし、新市街地をかさ上げ地

多機能性を持たせた施設構成

当施設は、高台から大野湾を望む眺めの良い立地のため建物を雁行させて配置し、各所からオーシャンビューの景色が得られる計画としました。施設正面にはロータリーを構え、屋根付きの車寄せを配置いたしました。ロータリー部分には従前施設の記憶の継承として、松を1本植樹いたしました。防災の観点から、正面の平場にはヘリポートスペースを確保し、*緊急用の離着陸場として計画いたしました。

本館施設は、用途ごとに管理棟・宿泊棟・体育館の3つの分棟型で構成し、一般利用者にも分かりやすい設計を目指しました。内部は、ロビーの床・壁・天井、研修室・創作室の腰壁等出来るだけ木質化を図り、温もりある仕上げに配慮しました。また外部(体育館の構造柱、軒裏等)にも一部木を現し、自然と調和するようなデザインとしました。

*緊急用の離着陸場…緊急用のみの利用であり、通常の離着陸や正式な訓練用としては使用不可。またヘリポートスペースにはヘリポートサインなし。



管理棟 1階はロビー・受付機能、施設管理者の関係諸室、食堂で構成。2階は各種研修が行える研修室とテラス付きの創作室完備。キャンプ場側にも直接出られる玄関を設置。



研修室

第1第2研修室各100名利用可。(間仕切り可能)



宿泊棟 宿泊室は3パターンあり、①一般宿泊室(4人用)×42室、②和室×3室、③和洋室×1室の計46室で最大200人が宿泊可。1階には共同の大浴場を配置。また身障者用浴室を1室設置。



食堂

大野湾を見渡すことができる200名利用可能な食堂。



体育館 屋内スポーツ活動、学校行事の集会場所としての利用を想定して計画。管理棟からのアクセスのほか、体育館への直接の出入口も確保。コートラインはバスケットボール、バレーボール、バドミントン。その他ニュースポーツにも活用可能。



テニスコート 砂入り人工芝を8面完備し、硬式・軟式テニスに対応。夜間照明は10塔設置し、夜間の使用も可能。



トイレ・倉庫棟

テニスコート前と運動広場前に配置。



キャンプ場 100名がテント泊できるスペースを2ヶ所確保。炊事棟を配置し、かまどと流しを10カ所ずつ用意した炊事場と食事スペースを完備。キャンプファイヤーサークル2ヶ所あり。



運動広場 25,400㎡の運動広場では、サッカー・ラグビーフィールド・軟式野球場2面完備。また、400mトラック、直線9レーン設定可能であり、走高跳・走幅跳等、陸上競技にも対応。



遊具広場

遊具、広場、駐車場73台完備。